

西柘植小だより

みんなちがうからすてき げんきいっぱい えがおいっぱい

NO.27

2026（令和8）年2月17日
伊賀市立西柘植小学校
発行責任者 里田雅彦

青空集会から

1月27日（火）の青空集会では、3人の子どもたちのスピーチ、給食委員会の発表、各学年からの1月目標の反省発表がありました。スピーチを話す子も聴く子も、また司会を担当する子もますます上手になってきています。今回のスピーチの中で、シールを集めていることについて話をした子が最後に「みんなはどんなシールが好きですか。」と問いかけて終わりました。その後の「おたすね」や感想の交流につながる上手な終わり方だと思いました。しかし、なかなか問いかけに答える子はいませんでした。すると、司会の子が「みんなはどんなシールが好きですか。」と再度みんなに投げかけました。機転のきいた行動に大変感心しました。その投げかけに答える子が続き、和やかな雰囲気ですピーチの時間が終わりました。給食委員会の発表では、1月24日からの「全国学校給食週間」についての説明の後、おせち料理に関わるクイズが出題され、楽しく学ぶことができました。自分たちでよりよい集会にしていこうと子どもたちはがんばっています。

クラブ活動

27日（火）の6限目に4～6年生の子どもたちがクラブ活動を行いました。スポーツクラブ、タブレットクラブ、いろいろなものづくりクラブ、いろいろなあそびクラブの4つのクラブに分かれ、異学年での交流もしながら活動を楽しみました。スポーツクラブはパラリンピックの正式種目にもなっている「ボッチャ」をしました。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、ボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競い合いました。タブレットクラブは「スクラッチ」を使ってプログラムを作り、作ったプログラムによって画面上のキャラクターを動かす活動をしました。いろいろなものづくりクラブは「クルンジ作り」をしました。「クルンジ」とは、クロワッサンをホットプレートで平たく焼いたものことで、カリリザクツとしたクロワッサン特有の食感が楽しめる



スイーツです。いろいろなあそびクラブは「パラシュート」や「くるくる変身カード」を作り、できあがったものを使って遊びました。協力し合ったり、声を掛け合ったりしながら楽しい時間を過ごすことができました。



5年生人権学習

2月4日(水)に反差別・人権研究所みえの本江優子さんからお話を聞きました。まずはじめに「みんなは、自分の気持ちをちゃんと表現できていますか。」と問いかけ、つらい、苦しい気持ちがあっても学校では見せないでいることのしんどさや表現すること、まわりが気づいていくことの大切さについて自分の経験をまじえて話してくれました。次に、差別やいじめは「する人」がいるからあること、差別やいじめをしている人に気づけないとなくせないこと、気づくためには勉強が必要なことを教えてくれました。子どもたちはこれまでの自分を振り返り、「自分で気づいていなくて、差別する人になってしまっていることもある。」「差別やいじめを見ているだけの時があった。行動したい。」と考えたことを交流していました。最後に「苦しい時に相談できる人を探すことも差別をなくす行動になる。」という話をしてくださり、子どもたちは友だちや仲間について考えていました。



授業参観・学級懇談会

6日(金)、本年度最後の授業参観、学級懇談会を行いました。保護者の皆様にはご参加いただきありがとうございました。授業参観では、保護者の皆さんに温かく見守れ、子どもたちは張り切って活動していました。これまで培ってきた力を発揮しながら、友達と協力して学び合い、楽しむ姿を見ていただき、成長を感じていただけたことと思います。学級懇談会では、12月に行われた「部落問題を考える保護者のつどい」に参加いただいた方からの還流報告の後、11月の懇談会に引き続き人権、差別の問題について意見交流を行いました。その中で、大人も子どもとともに学んでいくことの大切さを確認し合いました。卒業・進級まで、残りわずかとなりました。子どもたちが学んできたことを自信に変え、次のステージへと歩み出せるよう、精一杯取り組んでいきます。引き続き、ご協力ご支援をよろしくお願い致します。

